

新型コロナウイルス感染の現状

市川治療室 No.383.2020.07

新型コロナウイルスに関するニュースは毎日取り上げられていますが、新型と旧型（従来型）コロナウイルスとの違いについて誰もが考えるところでしょう。

コロナウイルスは風邪のウイルスで、その名称の由来は顕微鏡を見た際、形が「王冠」に似ていることからでギリシャ語で王冠を意味する「コロナ」となりました。

風邪の10～15%（流行期では35%ほど）がコロナウイルスによるものと言われています。

旧型（従来型）コロナウイルスは6種類あり、そのうちの2種類、SARSコロナウイルスとMERSコロナウイルスは動物から感染して重症化傾向がありますが、他の4種類のコロナウイルスにはほとんどの子供が6歳までに感染していると言われています。

旧型（従来型）コロナウイルスによる感染・発症症状は、発熱・咳など一般的な風邪の症状です。

新型コロナウイルスによる感染・発症症状は、発熱、咳、息切れ、筋肉痛、頭痛、喉の痛みなどがあるようです。

インフルエンザウイルスは飛沫感染（空気感染）で広がっていきます（ヒト⇒ヒト）が、コロナウイルスは接触感染で広がっていくと言われています（ヒト⇒物⇒ヒト）

感染者数は検査数に左右されますが、新型コロナウイルス感染者の多い国（上位5か国）と日本、オーストラリアの感染者数、回復者数、回復率、死亡者数、致死率などの現状は以下の通りです（6月30日現在）（データ元・米国ジョンス・ホプキンス大学）

国名	感染者数	回復者数	回復率	死亡者数	致死率
1・アメリカ	2,590,348	705,203	27.22%	126,123	4.87%
2・ブラジル	1,368,195	757,811	55.39%	58,314	4.26%
3・ロシア	640,246	402,778	62.91%	9,152	1.43%
4・インド	566,840	334,822	59.07%	16,893	2.98%
5・イギリス	313,470	1,368	0.44%	43,659	13.93%
53・日本	18,476	16,388	88.70%	972	5.26%
54・オーストラリア	17,723	16,420	92.65%	703	3.97%

新型コロナウイルス感染・発病からの回復と致死について世界平均は以下の通りです。

回復率…50.8% 5,235,943人（回復者数）÷10,302,193人（感染者数）

致死率…4.94% 505,505人（死亡者数）÷10,302,193人（感染者数）

予防としては、インフルエンザと同様、うがい・手洗い・食事・睡眠などが大事といわれています。接触感染予防には手洗い・消毒・物の清潔は重要です。

マスクの効果については賛否あります。オーストラリアでは政府がマスク着用について「あまり意味はない」との情報を出しているためかマスクを着用している人は少ない（ほとんどいない）とのことです（オーストラリアに30年在住している妹の情報）

マスク着用者が多い日本とオーストラリアの感染者数などはほとんど変わりません。